

令和4年6月27日  
総合政策局環境政策課

「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体が決定しました

- 国土交通省では、「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体として、グリーンインフラに取り組む地方公共団体3地域を決定しました。
- 重点支援団体に対しては、コンサルタントや専門家の派遣等を通じて、計画づくりや推進体制の構築等を支援し、官民連携によるグリーンインフラの実装を加速します。

○重点支援団体

団体名	取組概要
<p>川口市 (埼玉県)</p>	<p>雨水の流出抑制対策として、グリーンインフラの活用を目指し、道路の植栽帯を活用した「レインガーデン（雨庭）」の試験施工等を実施する。</p> <p>試験施工では、雨水の貯留・浸透効果を計測し、その情報を基に、市内で事業を展開するための推進体制や計画策定を目指す。</p>  <p>雨庭整備イメージ (事例写真提供：三菱地所(株))</p>
<p>松本市 (長野県)</p>	<p>令和3年7月に長野県知事、松本市を含めた県内4市による共同宣言「信州まちなかみどり宣言」を実施。</p> <p>今後、先導的な事例研究を行うとともに、「松本まちなかグリーンインフラアクションプラン」を策定し、道路、河川、公園等に積極的にグリーンインフラを取り入れ、緑と賑わい溢れる市街地空間(まちなか)を目指す。</p>  <p>歩道を活用した賑わい創出</p>
<p>いなべ市 (三重県)</p>	<p>令和元年5月に、もともと放置された雑木林であった地形を生かして、自然環境を活かしたまちづくり拠点「にぎわいの森」をオープン。昨年は、「いなべ市グリーンインフラ推進協議会」を設立し、グリーンインフラを市内で展開するための産官学金の連携体制を構築した。今後、にぎわいの森の整備効果を踏まえ、柔軟な資金調達手法を活用した新規事業の立ち上げを目指す。</p>  <p>にぎわいの森</p>

○添付資料

令和4年度パートナーシップによる先導的グリーンインフラモデル形成支援 概要

<問い合わせ先>

国土交通省総合政策局環境政策課 担当：和田、末原、増田

TEL：03-5253-8111（内線24331、24334）、03-5253-8262（直通） FAX：03-5253-1550